

5/31 東通中学校より『緑の羽根募金』寄贈

村役場庁舎に東通中学校の生徒を代表して、生活環境委員会委員長の釜沢祐愷さん（3年生）が来庁し、村に対し、『緑の羽根募金』を寄贈されました。

寄贈頂いた貴重な募金は、村発展の為、大事に使わせて頂きます。

本当にありがとうございました。



募金寄贈の様子

6/11 東通★東風塾と浮間小学校とのリモート交流会

このたび、東通★東風塾（塾長 山崎孝悦）が東京都北区の浮間小学校（校長 宮崎史隆）の5年生とリモートで交流会を開催しました。

この交流事業は、平成16年から「東通村の自然を活かし、都市部の人たちにも来てもらい、見てもらい、触れ合ってもらおうこと」をキーワードに東風塾と村の農業者や漁業者の“かっちゃ”を同行し東通村を味わってもらう交流事業がはじまり、平成19年からは浮間小学校と東通小学校児童相互がホームステイするなど、今年度で18年目を迎えました。

今年度は、このコロナ禍においても浮間小学校と東通小学校の児童が互いに交流を深め、これまで築いてきた交流事業を新たな視点で発展させることを目的に進めていく予定となっております。



リモート交流会の様子

★今日作る模様は…

これ！⇒



べこもち作成のモデル“ゆめちゃん”

第1弾は、東通★東風塾と浮間小学校とのリモート交流でしたが、副塾長の氣仙修さんより、『産業とは』という内容で東通村と北区の主産業の違いについて紹介し、北区ではほとんどない第1次産業が、東通村では約80%を占めていることにとても驚いていました。

また、東通小学校5年生が浮間小学校5年生とコロナが落ち着いたならやってみたいことを紹介しました。「一緒にべこもちを作りたい」、「東通村の食を食べまくる会を開催したい」など様々な意見がありました。

また、山崎塾長から“べこもち作成キット”が浮間小5年生児童へ送られ、尻屋崎に住む寒立馬の『ゆめちゃん』をモチーフにした“べこもち”の作成を宿題として出していました。

交流会の最後に、5年生児童から「東通村の人口はどれくらいですか？」や「交通手段は何ですか？」などの質問があり、氣仙さんからの返答に会場は自分たちの住む環境との違いに驚く場面もあり、盛り上がっていました。

今後予定の浮間小学校と東通小学校の交流事業については、都度報告します。



交流を楽しむ氣仙副塾長㊟と村職員